PAT-NO:

JP406272335A

DOCUMENT-IDENTIFIER:

JP 06272335 A

TITLE:

WALL STRUCTURE OF BUILDING

PUBN-DATE:

September 27, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

IWASAKI, MASARU

ASSIGNEE-INFORMATION:

MISAWA HOMES CO LTD

NAME

COUNTRY N/A

APPL-NO:

JP05063891

APPL-DATE: March 23, 1993

INT-CL (IPC): E04B002/94, E04B001/64, E04B002/00

US-CL-CURRENT: 52/209

ABSTRACT:

PURPOSE: To adjust moisture permeability in response to the

temperature

change of a season.

CONSTITUTION: In the wall structure of a unit type building with

panel 23 of an external wall material and the gypsum board 24 of an internal

wall material, a shape memory resin layer 28 is formed on the external-wall

material side surface of the gypsum board 24. Accordingly, the permeation of

steam into a wall 22 from an indoor section 26 is interrupted and dew condensation in the wall 22 is prevented in the winter season, and the shape

memory resin layer 28 is brought to the state of moisture permeability and

moisture in the wall 22 is discharged to the outside of the wall in

6/8/2006, EAST Version: 2.0.3.0

the summer season. The shape memory resin layer may also be formed on the indoor side surface of the internal wall material. The shape memory resin layer is formed on the indoor side surface of a wall material functioning as the external wall material and the internal wall material in combination at the time of the wall material.

COPYRIGHT: (C) 1994, JPO& Japio

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-272335

(43)公開日 平成6年(1994)9月27日

(51)Int.CL⁵

識別記号

庁内整理番号

技術表示箇所

E 0 4 B

2/94

6951-2E

1/64

Z

2/00

6951-2E

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平5-63891

FΙ

(71)出願人 000114086

ミサワホーム株式会社

(22)出願日

平成5年(1993)3月23日

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

(72)発明者 岩崎 勝

東京都杉並区高井戸東二丁目4番5号 ミ

サワホーム株式会社内

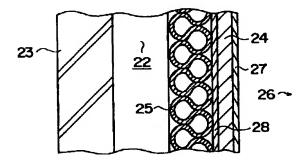
(74)代理人 弁理士 木下 寶三 (外2名)

(54)【発明の名称】 建物の壁体構造

(57)【要約】

【目的】 季節の温度変化に応じて透湿性を調節できる ようにした建物ユニットの壁体構造を提供する。

【構成】 外壁材のALCパネル23と内壁材の石膏ボー ド24を有するユニット式建物の壁体構造において、形状 記憶樹脂層28が、石膏ボード24の外壁材側表面に形成さ れている。これにより、冬季では室内26から壁体22内へ の水蒸気の透通を遮断して壁体22内部の結露を防止し、 また夏季では形状記憶樹脂層28を透湿性にして壁体22内 の湿気を壁体外に放出させる。なお、形状記憶樹脂層 は、内壁材の室内側表面に形成してもよい。また、外壁 材と内壁材を兼ねた壁材の場合には、この壁材の室内側 表面に形状記憶樹脂層を形成する。



10

【特許請求の範囲】

【請求項1】 外壁材と内壁材を有する建物の壁体構造 において、前記外壁材と内壁材の間に形状記憶樹脂層を 形成したことを特徴とする建物の壁体構造。

【請求項2】 外壁材と内壁材を有する建物の壁体構造 において、前記内壁材の室内側表面に形状記憶樹脂層を 形成したことを特徴とする建物の壁体構造。

【請求項3】 外壁材と内壁材を兼ねた壁材を有する建 物の壁体構造において、前記壁材の室内側表面に形状記 憶樹脂層を形成したことを特徴とする建物の壁体構造。 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、建物の壁体構造に関す る。

[0002]

【背景技術】近年、工場で建物を構成する居室等を建物 ユニットとして作製し、建築現場にこれらの建物ユニッ トを輸送して建築するようにしたユニット式建物が施工 されている。前記建物ユニットは、ユニットフレームに 天井パネル、床パネル、外壁パネル等が取り付けられて 20 構成されている。この建物ユニットの壁体の具体的構造 は、例えば、外壁材となるALCパネル、中間の断熱材 となるロックウール、内壁材となる石膏ボード及びこの 内壁材に張られたクロス等よりなるものである。従来、 このような壁体構造の防湿性を高めるため、アルミ箔等 の防水材を壁体内に介装することが行われている。

[0003]

[発明が解決しようとする課題] 上述したアルミ箔等が 介装された壁体構造の場合、冬季においては、室内から 壁体内への水蒸気の透通を遮断して壁体内部の結蹊を防 30 止することができる。しかし、夏季のように湿気の多い 時期においては、逆に水蒸気の透通が妨げられているた め、壁体内の湿度が高まって木材等が腐食する磨れがあ った。そこで、本発明は、季節の温度変化に応じて透渇 性を調節できるようにした建物ユニットの壁体構造を提 供することを目的とする。

[0004]

【課題を解決するための手段及び作用】本発明は、外壁 材と内壁材を有する建物の壁体構造において、前記外壁 材と内壁材の間に形状記憶樹脂層を形成したことを特徴 40 とする。また、この壁体構造において、前記形状記憶樹 脂層は、内壁材の室内側表面に形成してもよい。一方、 外壁材と内壁材を兼ねた壁材を有する建物の壁体構造に おいては、この壁材の室内側表面に形状記憶樹脂層を形 成する。前記形状記憶樹脂層となる形状記憶樹脂材料と しては、従来種々のものが提案されているが、例えば、 ポリウレタン系樹脂、ポリノルボルネン、トランス-1,4 - ポリイソプレン、スチレン・ブタジエン共重合体、等 を使用できる。

(T_g)以上の温度においては樹脂内の空孔が開いて水 蒸気が透通可能となり、一方T。以下の温度においては 空孔が閉じて水蒸気が透通不能となる。従って、所望の Tgを有する形状記憶樹脂を選ぶことにより、そのTg の上下の温度範囲において壁体の透湿性を調節し、例え ば、冬季においては、室内から壁体内への水蒸気の透通 を遮断して壁体内部の結露を防止し、また夏季において は、水蒸気を透通させて壁体内の湿度上昇を抑えること ができるようになる。形状記憶樹脂層の形成方法は任意 であり、例えば形状記憶樹脂溶液を塗布して形成しても よく、又は形状記憶樹脂のシートを張って形成してもよ 11

2

[0006]

【実施例】図1,2を参照して本発明の第1実施例に係 る建物の壁体構造を説明する。本実施例の建物は、ユニ ット式建物11であり、基礎12上に1階部分及びこの上に 2階部分を構成する複数の建物ユニット13が組み合わさ れて構成されたものである。前記建物ユニット13は、床 梁14、根太15、天井梁16、小梁17、柱等で組まれたユニ ットフレーム18を有し、このユニットフレーム18の床面 には床パネル19、天井面には天井パネル21、等が取付け られ、壁面には本実施例の壁体22が設けられている。

【0007】前記壁体22は、ユニットフレーム18に取付 けられた外壁材のALCパネル23、天井パネル21と床バ ネル19間に取り付けられた内壁材の石膏ボード24、石膏 ボード24の外壁材側近傍に設けられた断熱材のロックウ ール25及び石膏ボード24の室内26側表面に張られた内装 材のクロス27を有する。そして、前記石膏ボード24の外。 壁材側表面には、形状記憶樹脂層28が形成されている。 この形状記憶樹脂層28は、ポリウレタン系形状記憶樹脂 溶液の塗布によって形成されたものである。

【0008】このポリウレタン系形状記憶樹脂は、ジイ ソシアネートとポリオールの無溶媒反応を利用して作ら れる。ジイソシアネートとポリオールの主鎖や分子量を 変えることにより、-30℃~70℃の間にTg を有する形 状記憶樹脂が得られる。この形状記憶樹脂は、Tg 以上 の温度では分子の熱運動が活発となり、微小な空孔が開 いたり、閉じたりして、水分子の透通が可能になる。逆 に、Tg以下の温度では分子の熱運動が鈍くなって空孔 が閉じたままとなり、水分子の透通が不可能になる。こ こで使用したポリウレタン系形状記憶樹脂のTg は、15 **℃である。**

【0009】ユニット式建物11の建築において、このよ うな形状記憶樹脂層28が形成された石膏ボード24は、エ 場における建物ユニット13の組み立ての際、通常通り、 この石膏ボード24を天井パネル21と床パネル19間に取り 付けることにより設けることができる。このような壁体 構造によれば、冬季の例えば10°C以下に下がった気温に おいては、形状記憶樹脂層28内の空孔が閉じた状態にあ 【0005】このような形状記憶樹脂は、ガラス転移点 50 るため、室内26から壁体22内への水蒸気の透通を遮断し て壁体22内部の結露を防止することができる。これによ って、壁体22内の木材等が腐食する磨れはなくなる。

【0010】一方、夏季のように例えば20℃以上の気温 においては、形状記憶樹脂層28内の空孔が開いたり、閉 じたりして、形状記憶樹脂層28内を水分子の透通が可能 になっているため、壁体22内の湿気が壁体22外に放出さ れる。この結果、壁体22内の湿度上昇が抑えられて壁体 22内の木材等が腐食する虞れはなくなる。次に、図3を 参照して本発明の第2実施例に係る建物の壁体構造を説 明する。本実施例の壁体22も第1実施例の壁体22と基本 10 的構成が類似しており、同様のALCパネル23、石膏ボ ード24、ロックウール25及びクロス27を有する。

【0011】しかし、第1実施例における形状記憶樹脂 層28は、石膏ボード24の外壁材側表面に形成されている のに対して、本実施例の場合、形状記憶樹脂層29は、石 膏ボード24の室内26側表面に形成されている。そして、 クロス27は、この形状記憶樹脂層29の表面に張られてい る。このような壁体構造によっても、上記第1実施例の 場合と同様の効果が得られる。即ち、冬季では室内26か ら壁体22内への水蒸気の透通を遮断して壁体22内部の結 20 露を防止することができ、また夏季では形状記憶樹脂層 29を透湿性にして壁体22内の湿気を壁体22外に放出させ ることができる。

【0012】次に、図4を参照して本発明の第3実施例 に係る建物の壁体構造を説明する。この壁体22は、外壁 材と内壁材を兼ねた厚い (例えば 120mm) ALCパネル 31を有し、このパネル31の室内健表面に形状記憶樹脂層 32が形成され、この形状記憶樹脂層32の表面にクロス27 が張られて構成されている。このような壁体構造によっ ても、上記第1,2実施例の場合と同様の効果が得られ3024内壁材である石膏ボード

【0013】なお、上記実施例では、内装材としてクロ

ス27を張ったが、透湿性を有するものであれば、クロス 27以外の塗料等であってもよい。また、第2実施例にお いて、クロス27を張らないで、形状記憶樹脂層29を室内 に露出させてもよく、この場合、使用する形状記憶樹脂 溶液に適当な顔料を混和しておけば美観上好ましい壁面 が得られる。更に、上記実施例では、ユニット式建物11 を例に説明したが、本発明が適用される建物はこれに限 らず、例えば鉄骨軸組み構造の建物であってもよい。 [0014]

【発明の効果】本発明に係る建物ユニットの壁体構造に よれば、季節の温度変化に応じて透湿性を調節できる。 即ち、冬季では室内から壁体内への水蒸気の透通を遮断 して壁体内部の結露を防止することができ、また夏季で は形状記憶樹脂層を透湿性にして壁体内の湿気を壁体外 に放出させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係る壁体構造の断面図で

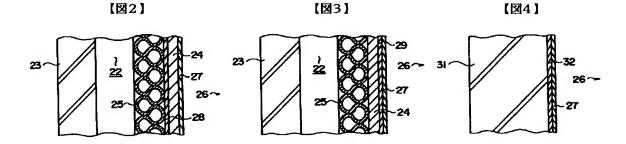
【図2】第1実施例に係る壁体構造の要部断面図であ

【図3】第2実施例に係る壁体構造の要部断面図であ

【図4】第3実施例に係る壁体構造の要部断面図であ る。

【符号の説明】

- 11 ユニット式建物
- 13 建物ユニット
- 23,31 外壁材であるALCパネル
- - 26 室内
 - 28,29,32 形状記憶樹脂層



【図1】

